地球発 和橋タイムス

2003年（平成15年）4月10日 木曜日

世界を股にかける「和橋ネットワーク」。各国に在住する特派員（ちょっとカッコよすぎ?）が現地で仕入れた生の情報を提供します。
今回のテーマは、日本人が大好きな"温泉"。各国のお国柄をまじえて、世界の温泉情報をお届けします。さて、海の向こうの湯加減は…?

ボリビア・サンタクルス発

「ボリビアの中の玉川温泉!?」

ボリビアには、アンデスの高原地区およびその近郊に多くの温泉があるが、村から離れていたり、標高が高すぎたりで整備された温泉施設は少ない。その中でも有名なのは、ポトシ市（16世紀半ばに発見された銀山で有名な町）から50㎞ほど離れたチャキ村からさらに5㎞ほどの地点にある、ウイチャイコリュ山頂近くの小火口にある源泉だ。この源泉は地域の施設に湯を供給するとともに、チパルニ川の源流ともなっている。またこの小火口は周辺の祈祷師（心霊治療師）の聖地でもあり、頂上には小さな石室まであるのだ。

ここの温泉には多くのプール型浴場や小型浴池があり、効能として湯に含まれる放射線によりリウマチに効くということが、国の内外にも知られている。源泉周辺の岩場に毛布などを敷いて湯治している風景は、あたかも日本の秋田県にある玉川温泉のようだ。

この温泉へは、ポトシの町からバスが一日2便しかなく、標高は3500m前後。チャキ村の宿泊施設は、数件で50人程度しか収容力がなく、まぁまぁまともなところが一軒。あとは「昔前の日本にあった湯治場の自炊棟みたいなところである。この地区のカルナバル（カーニバル・謝肉祭）はローカル色が豊かで魅力的なのでぜひ行ってみたいのだが、不便さに躊躇を感じるところでもある。

佐藤 信壽／ボリビア・サンタクルス在住

佐藤 信壽 プロフィール

E-mail　：nobutoshisato@hotmail.com
事業内容　：日系団体アシスト（三箇所のボリビア国日系団体の事務局長を歴任する。最終経歴はリベラルタ・ボリビア・日本文化協会事務局長）現在はフリーで、産業開発の調査を行っている

イスラエル・キブツ発

「死海スパの日本人的珍事！」

イスラエルにも結構温泉がありますよ。バーベキューをしたりして1日中楽しめる、ゴラン高原東部のプールのような温泉。タイル貼りの大きな浴槽がいくつもある、パレスチナ自治区ガザ近郊の銭湯のような温泉。この他にもスパと呼ばれる施設は数多くあります。特に死海のスパは海水を温めて療養に役立てていることでも有名です。

その死海スパでの面白い経験をご紹介しましょう。日本から友人がきた際、死海に連れて行きました。死海スパには男性用、男女共用、女性用の3つの浴槽があります。これらは壁を隔てて隣り合わせで、通路を通って簡単に行き来できるのです。男性用の浴槽では水着を付ける必要はありませんが、こちらのエチケットとして、男女共用では着用しなければいけません。

私は男性用の浴槽はあまりに療養の色合いが強いので、男女共用の方に一人で入っていました。友人たちも遅れてやってきたのですが、彼らは男性用の浴槽にいたときの格好、つまりスッポンポンにタオル一枚といういでたちでやってきたのです。男女共用の浴槽は家族やカップルが多くいたため、彼らがタオル一枚で入ってきたときは、かすかにどよめきが起こったのを憶えています。私は必死に笑いをこらえ、彼らを男性専用の浴槽に連れて行ったのはいうまでもありません。

萩原　均／イスラエル・キブツ在住

萩原 均 プロフィール

住　所　：Kibutz Givat Haim Meahud38930 Israel
TEL&Fax　：972++(0)4-636-8289
Email　：sangha.hitoshi@nifty.ne.jp
事業内容：イスラエル政府公認ガイド.輸出入代行.ハイテク関連技術書翻訳.プログラミング

インドネシア・西スマトラ発

「人には良薬、植物には毒」

1985年の暮れにヨルダン側にある温泉地域にいったことがあります。私は入浴しませんでしたが、泉質は硫黄泉でまあり温度は高くなかったようです。さらにここから数キロ死海側に下がったところに「ワディアラブ」という谷があり、この谷にも硫黄泉が数ヶ所湧いていました。浴用には使われていませんでしたが、道路沿いの側溝にその温水が流れ始めると、側溝の枡の上に小さな小屋が立ち始めました。小屋の中にはチャドルをつけた年配の女性が。「この小屋はなんだろう?」と思い友人に尋ねてみると、ヨルダンの田舎の女性には側溝の枡から立ち上る湯気で患部を治療する習慣があるとのことでした。

この温泉、ミネラル分が多いので人間にとっては効果があるのですが、実は農業灌漑や水道にとっては「毒水」。その水で畑を作った後、そのままにしておくと畑の塩分が高くなりすぎて植物が育ちません。そのため降雨や川の少ないこの地方では、畑の塩分を洗い流すためにどうしても農業用水としての水資源が必要となります。ですからイスラエルの土地になっているガラリア湖（ティベリアス湖）と国際河川となっているヤルムク川の水源は極めて重要なのです。詳しくは次のURLにアクセスしてみてください。

http://www.asahi-net.or.jp/~rw7s-tgc/take/Other/hospitality.html

田口 重久／インドネシア・西スマトラ州在住

田口 重久 プロフィール

会社名　：日本工営株式会社　プラント事業部
職　業　：鋼構造物の技師　技術士(建設部門)
住所　：c/o Nippon Koei Jakarta Office Jl. Sultan Hasaduddin No. 45, Kebayoran Baru,Jakarta
Tel　：+62-21-726-0556
E-mail　：ttaguchis@centrin.net.id
URL　：http://www.geocities.com/omdoyok/welcome.htm
事業内容　：大型公共土木プロジェクト(ダム・水力発電所)の計画・実施。特に大型水門やパイプライン

シンガポール・チョンバル発

「注目度No1！大人のスパ・アイランド」

2002年12月、セントゥーサ島に巨大なガーデン・スパ『スパ　ボタニカ』が誕生した。ここでは屋内・屋外両方のスパが体験できるのだが、見所はそれだけではない。

まず建物がセンスの良いデザインで統一され、清潔感があること。それから各部屋はプライバシーが守られた個室なので、男女を問わず安心して過ごせる。ちなみにここからは高層ビルなどが全く見えないため、シンガポールであることを忘れてしまいそうな非日常の空間が味わえるのだ。

さらに、アロマテラピー・マッサージ（150ドル／70分）やハイドロテラピー・ムーア・バス（75ドル／30分）、アンチ・ストレス・フェイシャル（150ドル／75分）、カップルのための5コースセット、スパ・トゥ・ギャザー・デイ（860ドル／4時間）などのサービスが体験でき、くつろぎの時間を演出。（他のメニューなど詳細はホームページで）　さらにトリートメントを受けた人には、15ドル追加で『アウトドア・ロマンス』というトロピカルガーデンを楽しめるコースも用意され、散歩したり泳いだり、リラックスした時間が過ごせるのだ。

他にも、アジア雑貨のお店やオーガニックにこだわった食材を使ったカフェがあり、一日中いても飽きない。今までのセントゥーサのイメージを覆す、大人がリラックスできる場所としておすすめだ。スパにうるさい女性にもきっとご満足いただけると思う。

ストレスの多い皆さん、「スパ　ボタニカ」でリフレッシュしてみませんか?

Spa Botanica (The Beaufort Singapore)
2 Bukit Manis Road, Sentosa. 099891,SINGAPORE
http://www.beaufort.com.sg/spabotanica.htm

飯盛 洋子／シンガポール・チョンバル在住

飯盛（いさがい） 洋子（ようこ） プロフィール

Taste Business Services Singapore; Manager
団体名　：SOHOアジア副代表
住　所　：39 Stamford Road, #02-13 Stamford House, Singapore 178885
Tel　：+65 6334-8452
Fax　：+65 6334-8453
E-mail　：taste @soho-asia.com
URL　：http://www.soho-asia.com
事業内容　：有田焼、久留米絣をはじめとする九州の伝統工芸品にこだわったアンテナショップをオープン。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください

ベトナム・ホーチミン発

「入浴後はビール片手に森林浴！」

ベトナムにも温泉があります。南部の海岸リゾート都市ブンタウ郊外に位置し、国営最大のサイゴンツーリスト社が開発運営している「ビンチャウ温泉」です。ホーチミン（旧サイゴン）からレンタカーで東へ約40分。ベトナム語で「Kinh Chao Quy Khach」と書かれた看板ゲートをくぐると、数軒のバンガローと数十個の巨大温泉卵のオブジェが迎えてくれます。車を降りると、独特の温泉卵のにおいが鼻を直撃！　82℃の天然水で茹で上げられる温泉卵は、ホーチミンから訪れるベトナム人観光客に人気だそうです。

肝心の温泉ですが、約40℃の足首をつけるタイプと30～40℃の通常のもの、さらには恥ずかしがり屋のベトナム人向けに個室温泉もあります。混浴の大浴場はプールのようで、ベトナムの人は水着か普段着のまま入ってしまいます。最近ではスチームバスもでき、将来的にスパ・リゾート化の予定です。

温泉のあとは、ビール片手にゆったりと森林浴をどうぞ。ギーギーと鳴く耳障りなセミの声は玉にキズですが、涼しげな海風に吹かれながら飲むベトナムローカルビール「333」は最高！

比較的に"やぶ蚊"が少ないので、安心してまどろめますよ。さらにリラックスしたい時はマッサージのサービスも。数万ドンでオリジナルの「全身オイルマッサージ」が楽しめます。

鷹野　哲／ベトナム・ホーチミン在住

鷹野　哲 プロフィール

住所　：ベトナム社会主義共和国ホーチミン市フーニュアン区
Tel　：84-8-903732384
Fax　：84-8-9910035
E-mail　：takano-brothers@excite.co.jp
事業内容　：お仏壇のはせがわ経営企画部に所属し、ベトナムにおける投資プロジェクト（大型小売店経営）に従事しております